

「木田宏オーラルヒストリー」デジタルアーカイブの再構成

谷 里佐・加藤 真由美

岐阜女子大学における木田宏教育資料「木田文庫」の整備は、平成 16 年からはじまり、平成 24 年に岐阜女子大学図書館に「木田文庫」が設置・公開された。

木田宏教育資料とは、木田宏先生が著された書籍や論文等をはじめ、所蔵されていた各種資料、「木田宏オーラルヒストリー」としてまとめられている話の記録等を指す。

木田先生は、昭和 21 年に文部省に入省され、以後、生涯にわたって、教科書または教科書制度、教育委員会制度等、戦後の教育に関わられ、多くの教育関係の書籍、資料類を残された。主として、昭和 21 年～平成 17 年頃までの戦後の多様な教育関連資料があり、いずれも、教育分野における基礎的な資料であり、教育研究分野の貴重な資料といえる。

これらを、木田先生およびご家族のご厚意により、教育研究用として、平成 16 年（2004）に、図書 5,959 冊、雑誌 4,188 冊の計 10,147 冊、平成 24 年（2012）に追加として図書 125 冊、さらに、平成 29 年（2017）に追加として図書 54 冊の総計 10,326 冊を岐阜女子大学に寄贈いただいた。

岐阜女子大学では、これら寄贈いただいた 10,326 冊を「木田文庫」として整備し、オーラルヒストリー資料は、デジタルアーカイブ化を行っている。

1. 「木田宏オーラルヒストリー」のデジタルアーカイブ

「木田宏オーラルヒストリー」は、木田宏先生の戦後の教育についての話をまとめたものであり、『木田宏教育資料』第 1 巻～第 5 巻に以下の通り収録されている。

- ・昭和 20 年代初期における教育について（平成 7 年 11 月 29 日・30 日）
- ・教育委員会制度の導入と定着（平成 8 年 5 月 21 日・22 日）
- ・教職員組合について（平成 8 年 5 月 22 日）
- ・大学問題への取り組み（平成 8 年 9 月 4 日・5 日）
- ・社会教育、体育、国際化等の諸問題（平成 8 年 11 月 22 日）
- ・国立教育研究所時代（平成 10 年 1 月 31 日）

さらに、上記を総括する内容について、平成 16 年 6 月 27 日・28 日に、岐阜女子大学文化情報研究センターにて再度お話しをしていただき、木田先生の話されている様子を映像で記録した。

平成 16 年の記録は、「木田宏オーラルヒストリー」デジタルアーカイブとしてまとめ、文部科学省大臣官房ほかの依頼を受け、DVD の制作と提供を行った。その他、貴重な教育資料（教材）として、岐阜女子大学公開講座等での教育利用および一部のインターネット公開等を行っている。

また、「木田宏オーラルヒストリー」については、岐阜大学にて収録された平成 7 年から平成 10 年までのものと、デジタルアーカイブを行った平成 16 年のものを併せ、冊子『木田宏オーラルヒストリー』として並製本および上製本にそれぞれまとめている。

2. 「木田宏オーラルヒストリー」のデジタルアーカイブ再構成 ―集合保存の概念―

初期の「木田宏オーラルヒストリー」デジタルアーカイブ公開から約10年が経過し、DVDに収録したコンテンツに互換性等の不具合が生じたため、デジタルアーカイブとして再構成を行った。

再構成にあたり、提示機器の変化に左右されない方法を探り、また、話をされている映像、話の内容を示す文字起こし、話に関連する各種資料等を集合させた記録である集合保存（保管）形式でまとめた。

集合保存（保管）とは、さまざまな資料が混在するデジタルアーカイブにおいて、多様な資料を提供し、利用者が必要に応じて選択し、活用できる保管とその提示形式を指す。

「木田宏オーラルヒストリー」デジタルアーカイブでは、木田先生の話の映像情報、話の文字起こし、過去のオーラルヒストリーの文字情報、話に関連する文献資料や写真資料等、様々な資料があり、それらを利用者が必要に応じて選択し、活用できるように構成した。



—— オーラルヒストリーデジタルアーカイブ ——
〈再構成〉

3. 再構成したデジタルアーカイブの有効活用のために～研究利用ガイドの利用～

木田宏教育資料「木田文庫」には、戦後の教科書および教科書制度、教育委員会制度等、多くの課題に関わる多種多様な資料がある。これらの資料群と「木田宏オーラルヒストリー」デジタルアーカイブを活用することで、教材開発、教育方法、教育制度等、戦後の教育資料としてさまざまな研究利用が期待できる。

しかし、「木田文庫」として整備されたこれらの資料の一つひとつ紐解き、大学院生や学部生が自分の研究に必要な資料を見つけ出し、研究利用することは容易ではない。

そこで、大学院生や学部生への研究利用支援として、「木田文庫」・「木田宏オーラルヒストリー」の中から、教育研究に役立つと考えられる戦後から現在までの資料を各分野別で抽出し、いくつかの重要資料等を選び、リスト化して提供する研究利用ガイドとして、『木田宏教育資料案内』(1)・(2)の作成を行い、冊子としてまとめている。

例えば、「木田宏オーラルヒストリー」デジタルアーカイブには、昭和21年3月の米国教育使節団に対する文部大臣（当時）安倍能成氏のあいさつ文や木田先生の著書『新教育と教科書制度』をはじめとした教育研究上重要な資料が収録されており、研究利用ガイド『木田宏教育資料案内』ではそれらの資料を紹介しながら、他に自分の力でどういう資料を探し、学修する必要があるかを示している。

最後に、「木田宏教育資料」として、書籍、資料類を寄贈いただいた故木田宏先生、木田望様はじめご家族のご厚意に、深く感謝いたします。また、長年にわたり、木田宏教育資料の整備に携わってこられた後藤忠彦先生、岐阜大学、公益財団法人パナソニック教育財団ほか、多くの関係者のみなさまのご支援にお礼申し上げます。